

脳神経外科	0	7	1	0	8
	0.0%	5.7%	3.8%	0.0%	1.0%
形成外科	0	2	3	0	5
	0.0%	1.6%	11.5%	0.0%	0.6%
歯科	0	2	0	0	2
	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.3%
呼吸器・消化器・皮膚・その他	1	1	2	0	4
	0.2%	0.8%	7.7%	0.0%	0.5%
無回答	5	0	1	1	7
	0.8%	0.0%	3.8%	50.0%	0.9%
合計	639	123	26	2	790
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

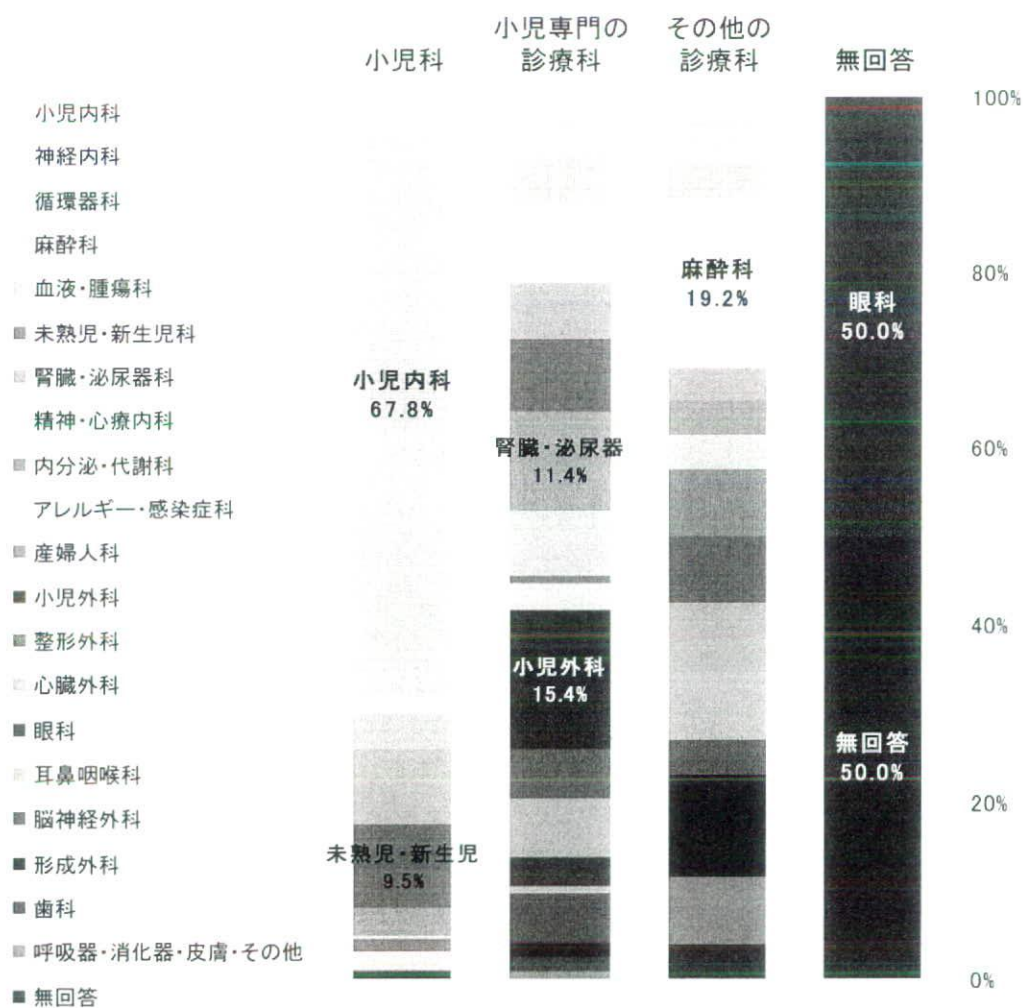


図 3-29 専門領域と所属診療科

表 3-30 所属機関の治験参加経験

項目	人数	比率
経験あり	612	77.5%
経験なし	121	15.3%
無回答	57	7.2%
計	790	100.0%

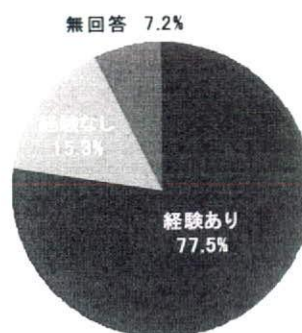


図3-30 所属機関の治験参加経験

表3-31 所属機関の治験参加経験と所属機関1

項目	経験あり	経験なし	無回答	全体
国公立大学病院	275	31	16	322
	85.4%	9.6%	5.0%	100.0%
私立大学病院	153	37	13	203
	75.4%	18.2%	6.4%	100.0%
国公立小児病院	162	45	25	232
	69.8%	19.4%	10.8%	100.0%
私立小児病院	4	5	2	11
	36.4%	45.5%	18.2%	100.0%
無回答	18	3	1	22
	81.8%	13.6%	4.5%	100.0%
計	612	121	57	790
	77.5%	15.3%	7.2%	100.0%

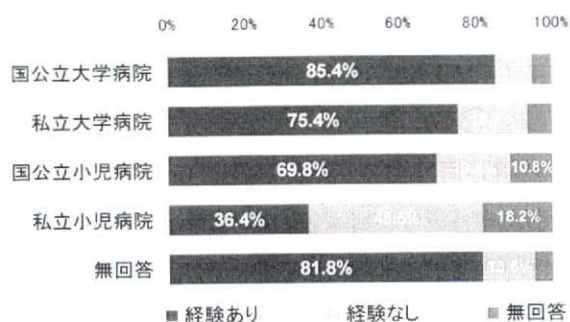


図 3-31 所属機関の治験参加経験と所属機関 1

表 3-32 所属機関の治験参加経験と所属機関 1

(国公立／私立)

項目	経験あり	経験なし	無回答	全体
国公立病院	437	76	41	554
	78.9%	13.7%	7.4%	100.0%
私立病院	157	42	15	214
	73.4%	19.6%	7.0%	100.0%
無回答	18	3	1	22
	81.8%	13.6%	4.5%	100.0%
計	611	121	57	790
	77.3%	15.3%	7.2%	100.0%

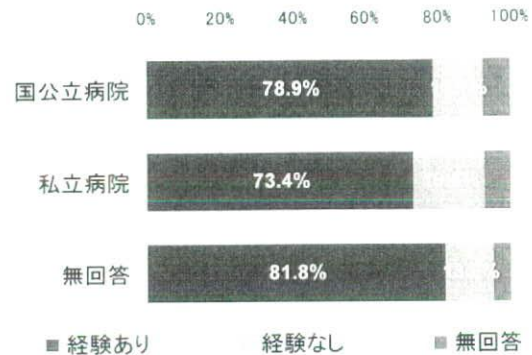


図 3-32 所属機関の治験参加経験と所属機関 (国公立／私立)

表 3-33 所属機関の治験参加経験と所属機関 1

(大学／小児)

項目	経験あり	経験なし	無回答	全体
大学病院	428	68	29	525
	81.5%	13.0%	5.5%	100.0%
小児病院	166	50	27	243
	68.3%	20.6%	11.1%	100.0%
無回答	18	3	1	22
	81.8%	13.6%	4.5%	100.0%
計	612	121	57	790
	77.5%	15.3%	7.2%	100.0%

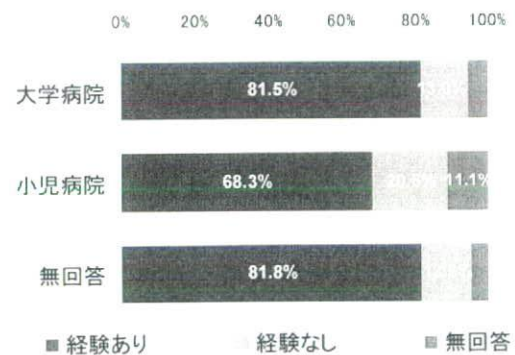


図 3-33 所属機関の治験参加経験と所属機関 1 (大学／小児)

項目	経験あり	経験なし	無回答	全体
小児専門 病院	180 69.8%	52 20.2%	26 10.1%	258 100.0%
小児専門 でない病院	420 81.1%	69 13.3%	29 5.6%	518 100.0%
無回答	12 85.7%	0 0.0%	2 14.3%	14 100.0%
計	612 77.5%	121 15.3%	57 7.2%	790 100.0%

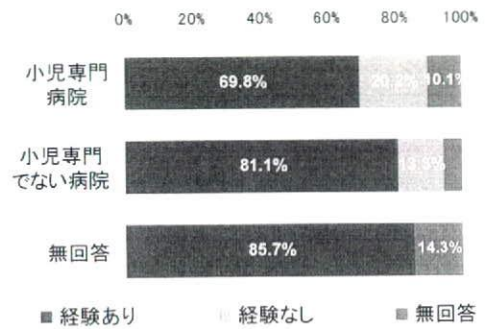


図 3-34 所属機関の治験参加経験と所属機関2

表 3-35 所属機関の治験参加回数

項目	人数	比率
1回	42	6.9%
2回	32	5.2%
3回	23	3.8%
4回	15	2.5%
5回	20	3.3%
6回	2	0.3%
7回	9	1.5%
8回	3	0.5%
10回	26	4.2%
12回	1	0.2%
20回	7	1.1%
30回	3	0.5%
40回	1	0.2%
100回	1	0.2%
224回	1	0.2%
500回	1	0.2%
多数回	54	8.8%
不明	153	25.0%
無回答	218	35.6%
計	612	100.0%

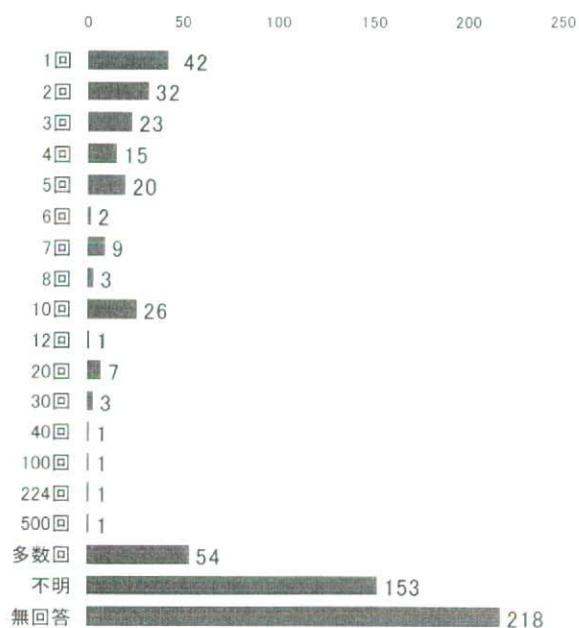


図 3-35 所属機関の治験参加回数

表 3-36 所属機関の治験参加回数

項目	人数	比率
1回以上5回未満	112	59.9%
5回以上10回未満	34	18.2%
10回以上20回未満	27	14.4%
20回以上50回未満	11	5.9%
100回以上	3	1.6%
計	187	100.0%

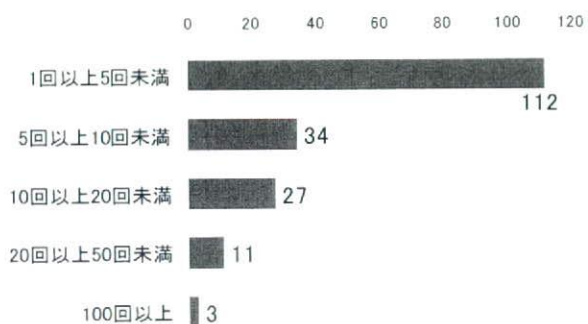


図 3-36 所属機関の治験参加回数

表 3-37 医師個人の治験参加経験

項目	人数	比率
経験あり	480	60.8%
経験なし	307	38.9%
無回答	3	0.4%
計	790	100.0%

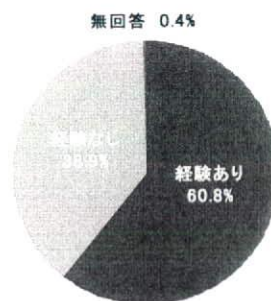


図 3-37 医師個人の治験参加経験

表 3-38 医師個人の治験参加経験と所属機関 1

項目	経験あり	経験なし	無回答	全体
国公立大学病院	192	130	0	322
	59.6%	40.4%	0.0%	100.0%
私立大学病院	124	79	0	203
	61.1%	38.9%	0.0%	100.0%
国公立小児病院	144	86	2	232
	62.1%	37.1%	0.9%	100.0%
私立小児病院	7	4	0	11
	63.6%	36.4%	0.0%	10.0%
無回答	13	8	1	22
	59.1%	36.4%	4.5%	100.0%
計	480	307	3	790
	60.8%	38.9%	0.4%	100.0%



図 3-38 医師個人の治験参加経験と所属機関 1

表 3-39 医師個人の治験参加経験と所属機関 1

(国公立/私立)

項目	経験あり	経験なし	無回答	全体
国公立病院	336	216	2	554
	60.6%	39.0%	0.4%	100.0%
私立病院	131	83	0	214
	61.2%	38.8%	0.0%	100.0%
無回答	13	8	1	22
	59.1%	36.4%	4.5%	100.0%
計	480	307	3	790
	60.8%	38.9%	0.4%	100.0%

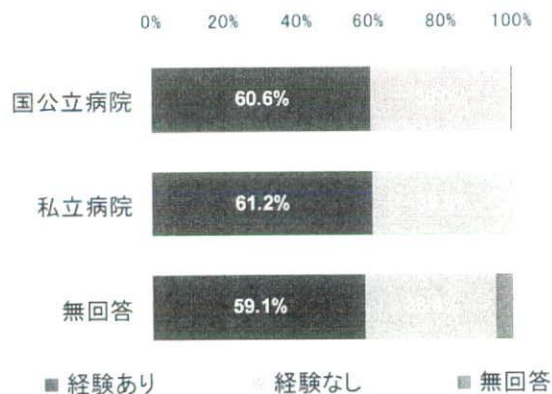


図 3-39 医師個人の治験参加経験と所属機関 1
(国公立/私立)

表 3-40 医師個人の治験参加経験と所属機関 1

(大学／小児)				
項目	経験あり	経験なし	無回答	合計
大学病院	316	209	0	525
	60.2%	39.8%	0.0%	100.0%
小児病院	151	90	2	243
	62.1%	37.0%	0.8%	100.0%
無回答	13	8	1	22
	59.1%	36.4%	4.5%	100.0%
計	480	307	3	790
	60.8%	38.9%	0.4%	100.0%

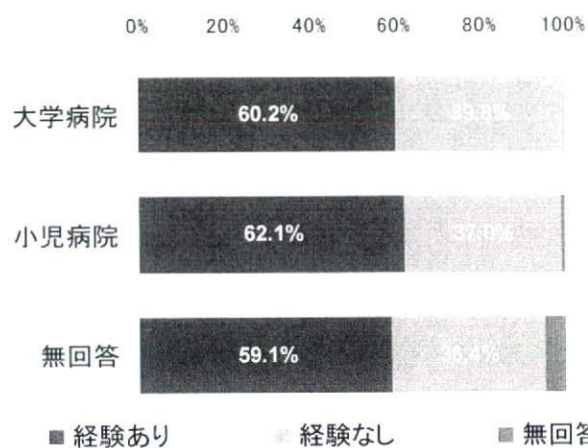


図 3-40 医師個人の治験参加経験と所属機関 (大学／小児)

表 3-41 医師個人の治験参加経験と所属機関 2

項目	経験あり	経験なし	無回答	合計
小児専門病院	157	99	2	258
	60.9%	38.4%	0.8%	100.0%
小児専門でない病院	311	207	0	518
	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
無回答	12	1	1	14
	85.7%	7.1%	7.1%	100.0%
計	480	307	3	790
	60.8%	38.9%	0.4%	100.0%

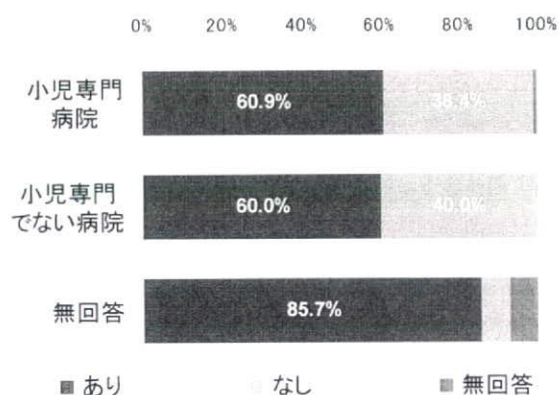


図 3-41 医師個人の治験参加経験と所属機関 2

表 3-42 医師個人の治験参加経験と臨床経験年数

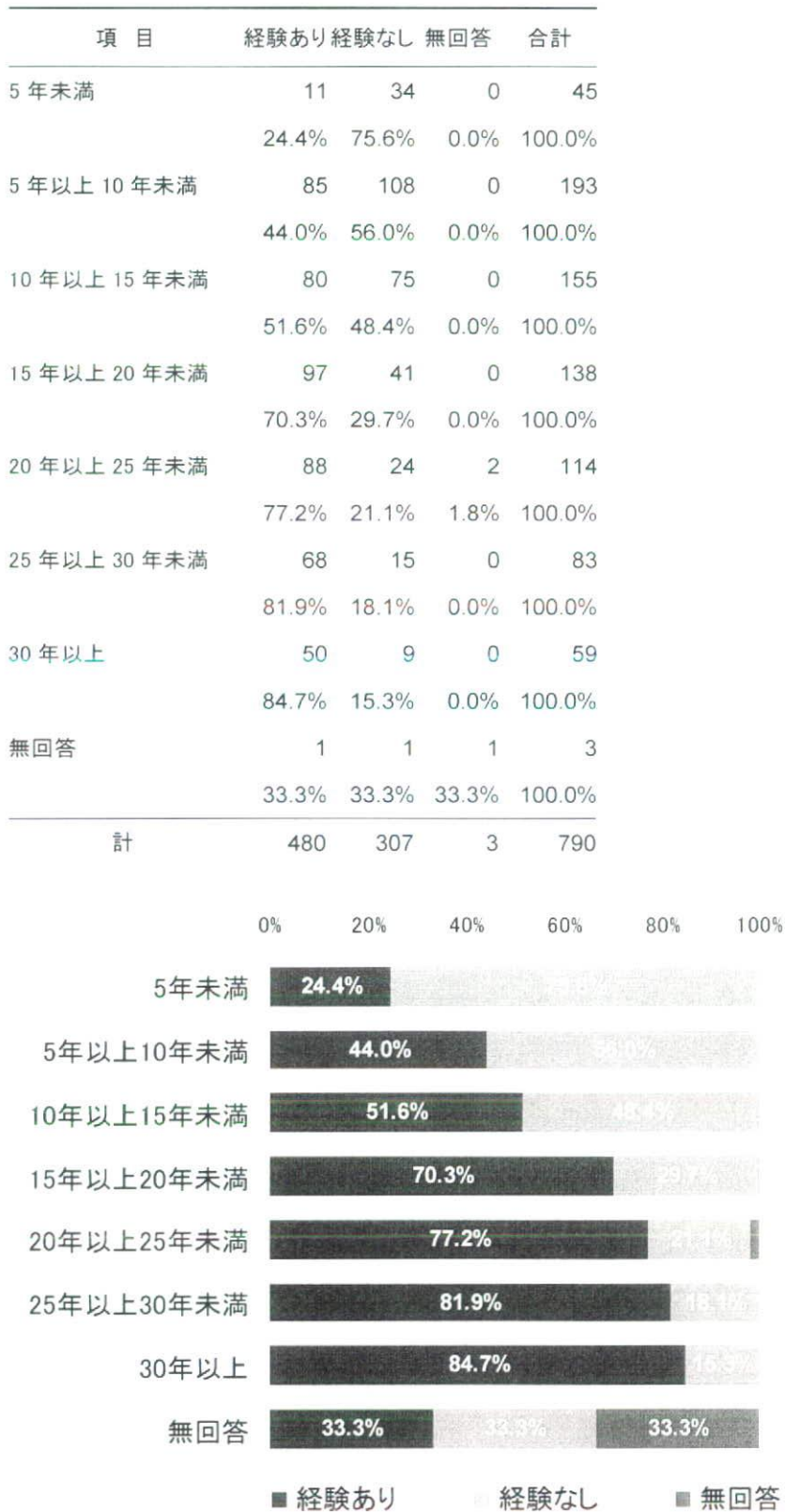


図 3-42 医師個人の治験参加経験と臨床経験年数

表 3-43 医師個人の治験参加経験と卒後年数

項目		経験あり	経験なし	無回答	全体
5年未満	度数	8	32	0	40
	比率	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
5年以上10年未満	度数	81	104	0	185
	比率	43.8%	56.2%	0.0%	100.0%
10年以上15年未満	度数	82	75	0	157
	比率	52.2%	47.8%	0.0%	100.0%
15年以上20年未満	度数	96	47	0	143
	比率	67.1%	32.9%	0.0%	100.0%
20年以上25年未満	度数	89	23	2	114
	比率	78.1%	20.2%	1.8%	100.0%
25年以上30年未満	度数	71	17	0	88
	比率	80.7%	19.3%	0.0%	100.0%
30年以上	度数	52	9	0	61
	比率	85.2%	14.8%	0.0%	100.0%
無回答	度数	1	0	1	2
	比率	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%
計	度数	480	307	3	790
	比率	60.8%	38.9%	0.4%	100.0%

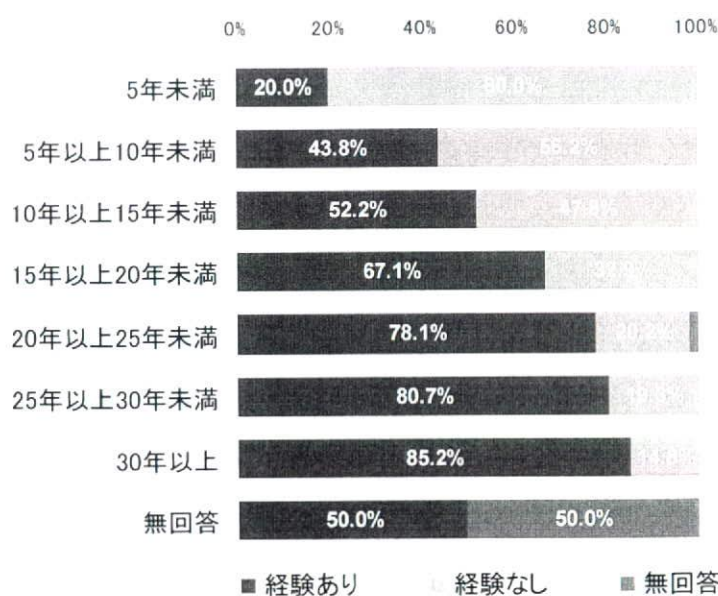


図 3-43 医師個人の治験参加経験と卒後年数

表 3-44 医師個人の治験参加経験と所属診療科

		経験あり	経験なし	無回答	合計
小児科	度数	386	252	1	639
	比率	60.4%	39.4%	0.2%	100.0%
小児専門の診療科	度数	78	44	1	123
	比率	63.4%	35.8%	0.8%	100.0%
その他の診療科	度数	16	10	0	26
	比率	61.5%	38.5%	0.0%	100.0%
無回答	度数	0	1	1	2
	比率	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%
合計	度数	480	307	3	790
	比率	60.8%	38.9%	0.4%	100.0%

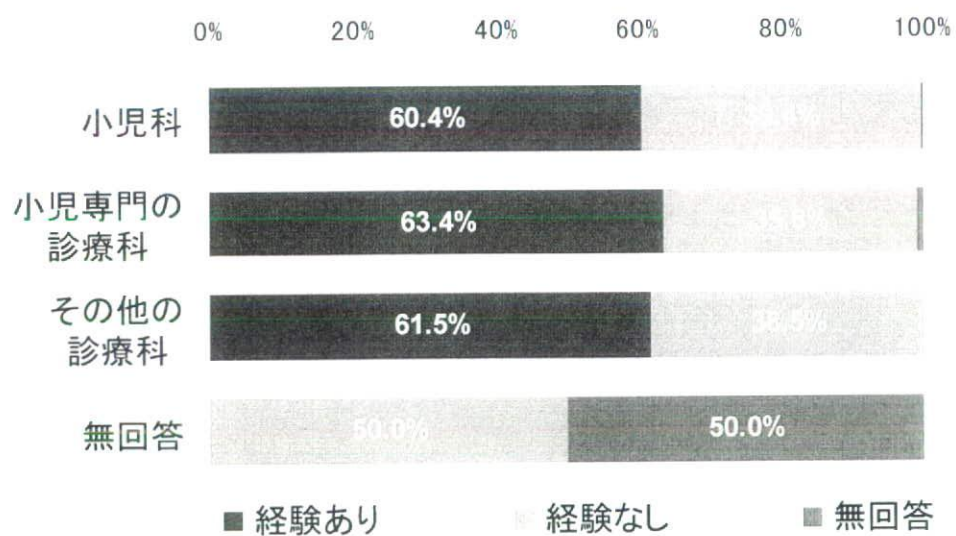


図 3-44 医師個人の治験参加経験と所属診療科

表 3-45 医師個人の治験参加経験と専門領域

項目		経験あり	経験なし	無回答	全体
小児内科	度数	252	186	1	439
	比率	57.4%	42.4%	0.2%	100.0%
神経内科	度数	11	8	0	19
	比率	57.9%	42.1%	0.0%	100.0%
循環器科	度数	21	12	0	33
	比率	63.6%	36.4%	0.0%	100.0%
麻酔科	度数	9	7	0	16
	比率	56.3%	43.8%	0.0%	100.0%
血液・腫瘍科	度数	45	18	0	63
	比率	71.4%	28.6%	0.0%	100.0%
未熟児・新生児科	度数	48	23	0	71
	比率	67.6%	32.4%	0.0%	100.0%
腎臓・泌尿器科	度数	23	11	1	35
	比率	65.7%	31.4%	2.9%	100.0%
精神・心療内科	度数	9	3	0	12
	比率	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%
内分泌・代謝科	度数	8	2	0	10
	比率	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%
アレルギー・感染症科	度数	14	3	0	17
	比率	82.4%	17.6%	0.0%	100.0%
産婦人科	度数	2	0	0	2
	比率	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
小児外科	度数	7	12	0	19
	比率	36.8%	63.2%	0.0%	100.0%
整形外科	度数	4	5	0	9
	比率	44.4%	55.6%	0.0%	100.0%
心臓外科	度数	6	4	0	10
	比率	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
眼科	度数	1	4	0	5
	比率	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
耳鼻咽喉科	度数	2	2	0	4
	比率	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
脳神経外科	度数	7	1	0	8

形成外科	比率	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%
	度数	2	3	0	5
歯科	比率	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
	度数	0	2	0	2
呼吸器・消化器・皮膚・その他	比率	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	度数	4	0	0	4
無回答	比率	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	度数	5	1	1	7
計	比率	71.4%	14.3%	14.3%	100.0%
	度数	480	307	3	790
	比率	60.8%	38.9%	0.4%	100.0%

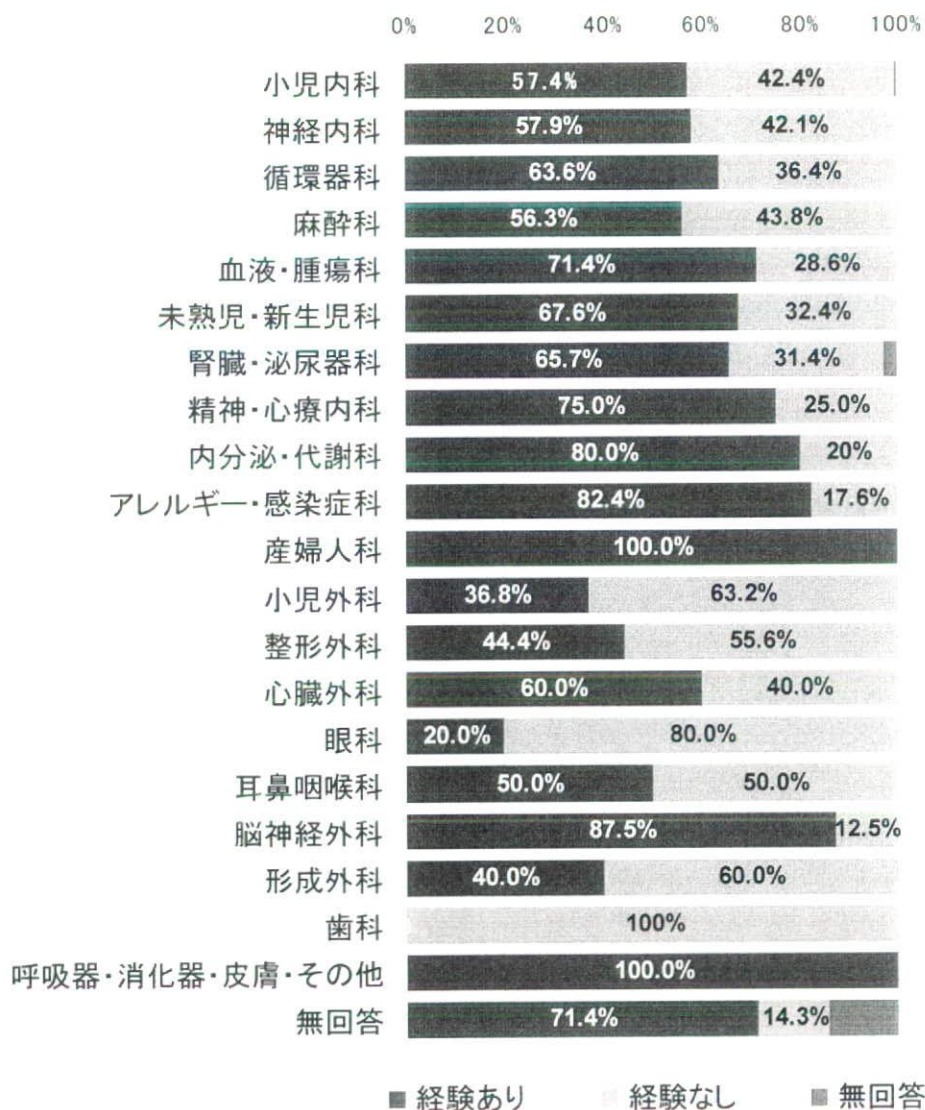


図 3-45 医師個人の治験参加経験と専門領域

表 3-46 医師個人の治験参加回数

項目	人数	比率
1回	133	27.7%
2回	93	19.4%
3回	81	16.9%
4回	28	5.8%
5回	38	7.9%
6回	4	0.8%
7回	4	0.8%
8回	5	1.0%
10回	18	3.8%
15回	2	0.4%
20回	4	0.8%
30回	2	0.4%
多数回	6	1.3%
不明	9	1.9%
無回答	53	11.0%
計	480	100.0%

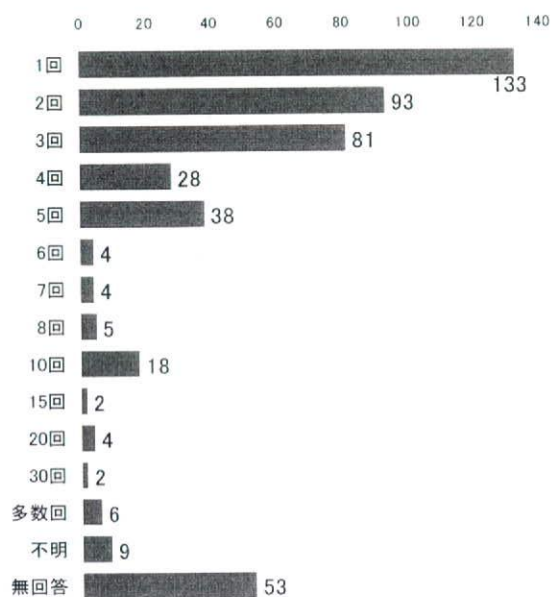


図 3-46 医師個人の治験参加回数

表 3-47 医師個人の治験参加回数

項目	人数	比率
1回	133	31.8%
2回	93	22.2%
3回	81	19.4%
4回	28	6.7%
5回	38	9.1%
6回以上10回未満	13	3.1%
10回以上20回未満	20	4.8%
20回以上30回未満	4	1.0%
30回以上	8	1.9%
計	418	100.0%

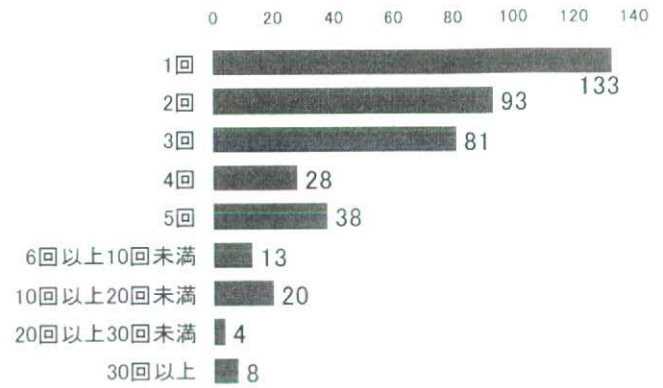


図 3-47 医師個人の治験参加回数

資料 4

表4-1 a項目 記述統計

	度数						
	有効	欠損値	平均値	最頻値	標準偏差	最小値	最大値
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	787	3	3.43	3	.577	1	4
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	757	33	3.47	3	.545	1	4
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	787	3	3.49	4	.532	1	4
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	783	7	3.39	3	.516	1	4
a09 オフラベル（適応外使用）問題を解決することが望ましい	787	3	3.46	3	.524	2	4
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	774	16	2.65	3	.715	1	4
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	784	6	3.49	4	.530	2	4
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	778	12	3.04	3	.540	1	4
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	788	2	3.40	3	.498	2	4
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	785	5	3.11	3	.526	1	4
a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	786	4	3.08	3	.584	1	4
a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	783	7	2.99	3	.506	1	4
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	786	4	3.18	3	.617	1	4
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	784	6	3.19	3	.572	2	4
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	784	6	3.31	3	.518	2	4
a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	768	22	2.99	3	.533	2	4
a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	786	4	3.31	3	.501	2	4
a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	779	11	3.07	3	.524	1	4
a37 小児医療の質を向上させなければならない	786	4	3.46	3	.514	1	4
a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	779	11	2.97	3	.583	1	4

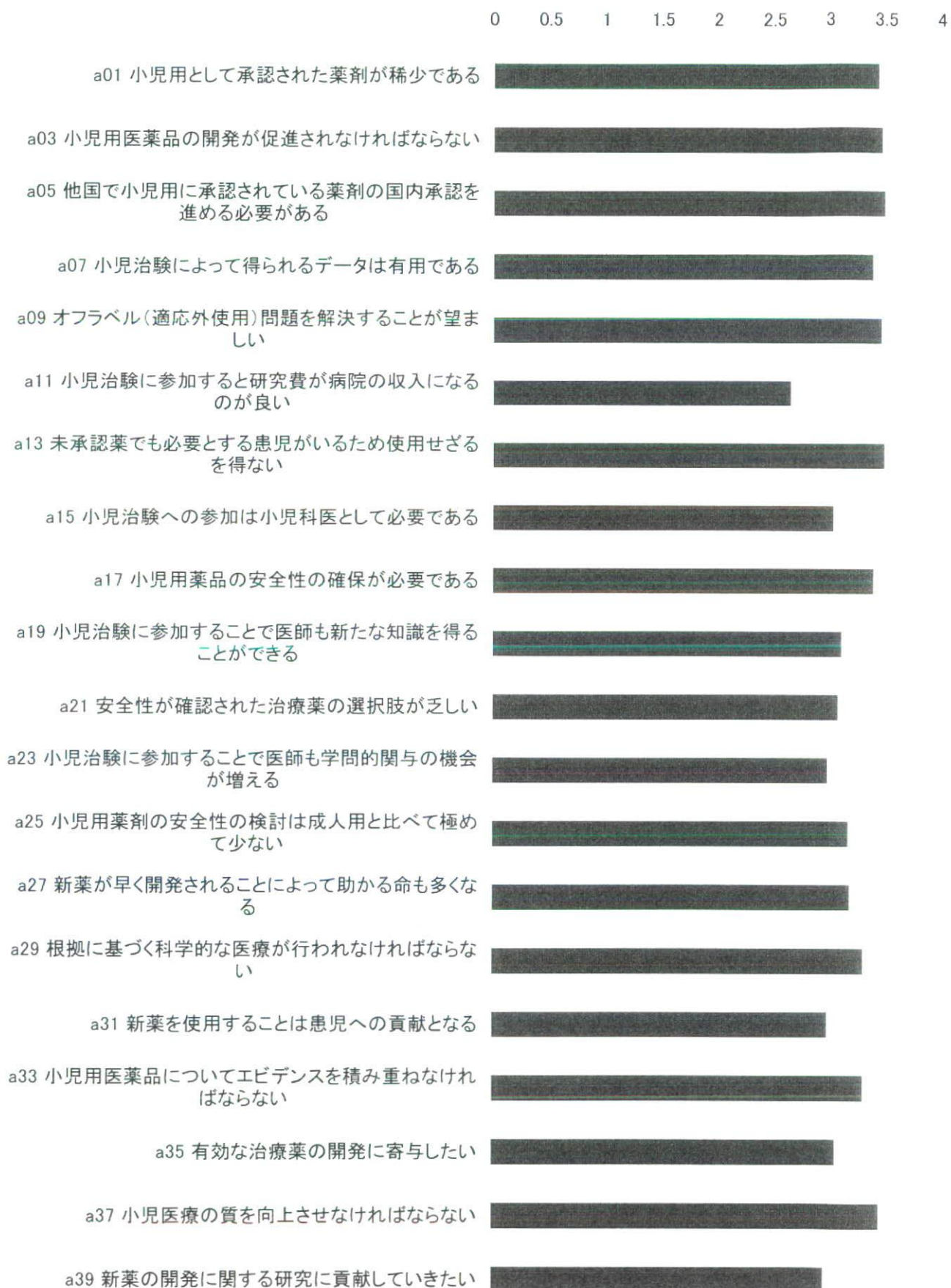


図4-1 治験参加促進要因に対する回答の平均点

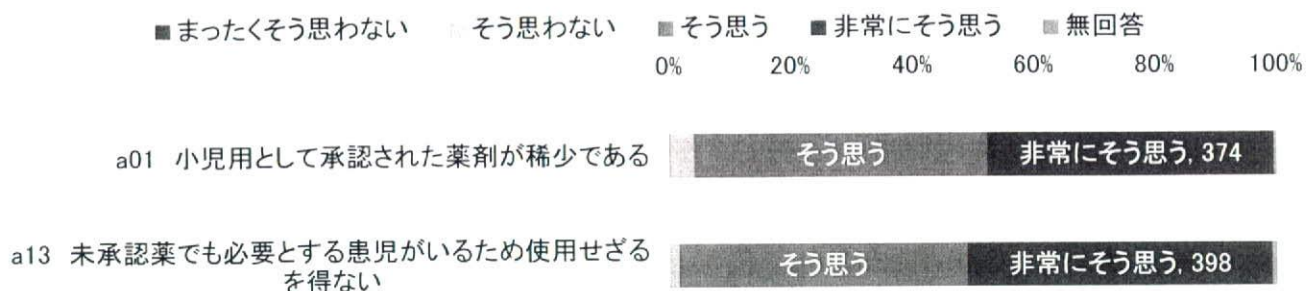


図4-2 未承認薬の使用状況

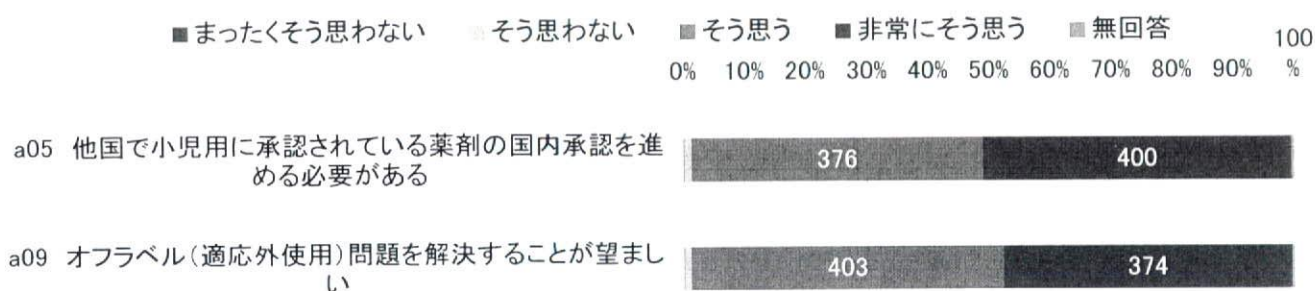


図 4-3 未承認薬の適応拡大

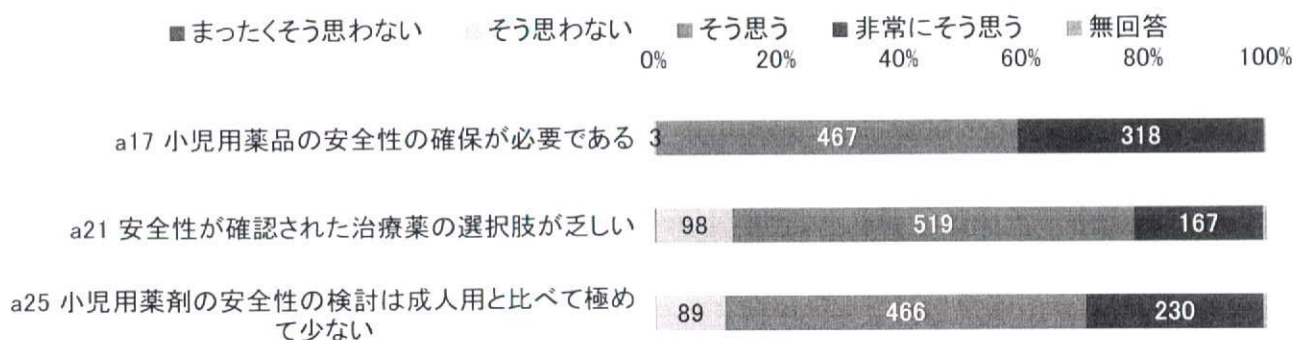


図 4-4 安全性の確保

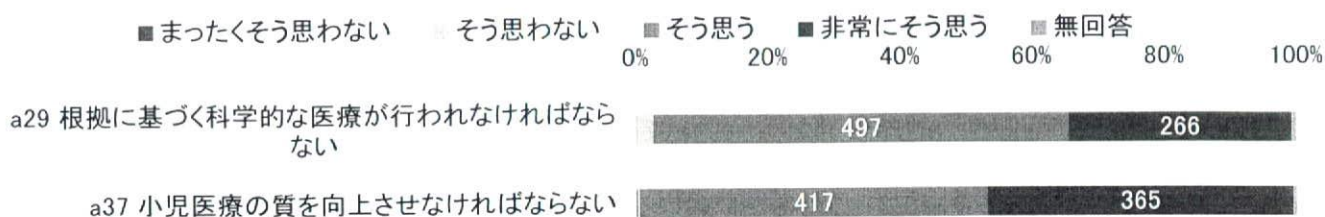


図 4-5 医療の発展

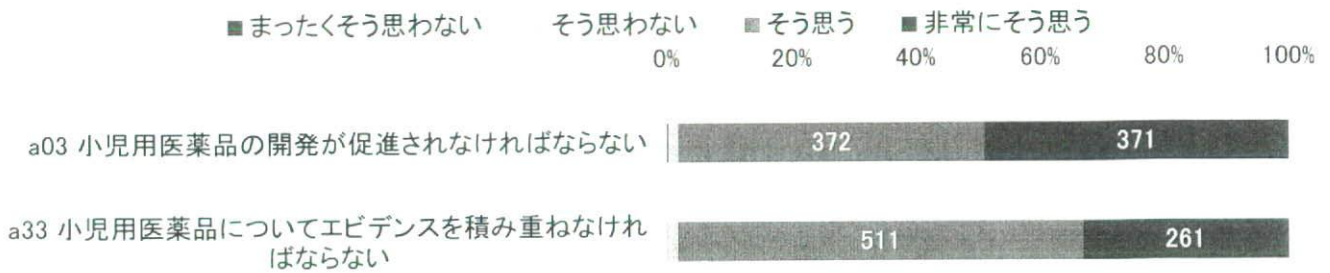


図 4-6 医薬品の発展

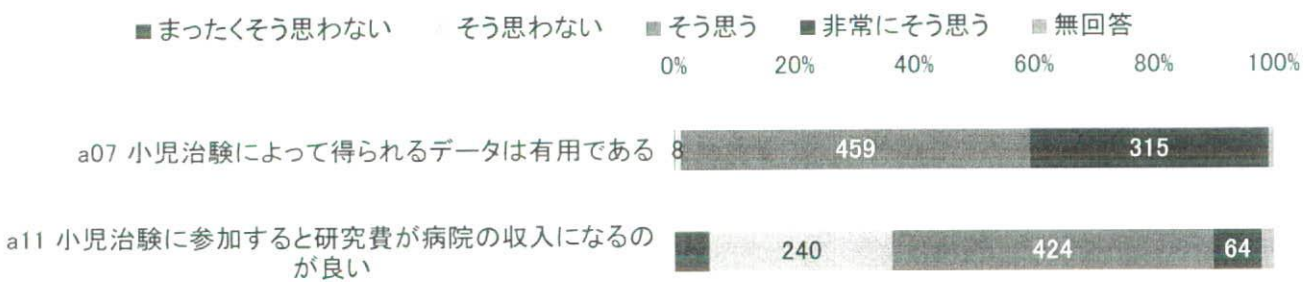


図 4-7 治験の有用性

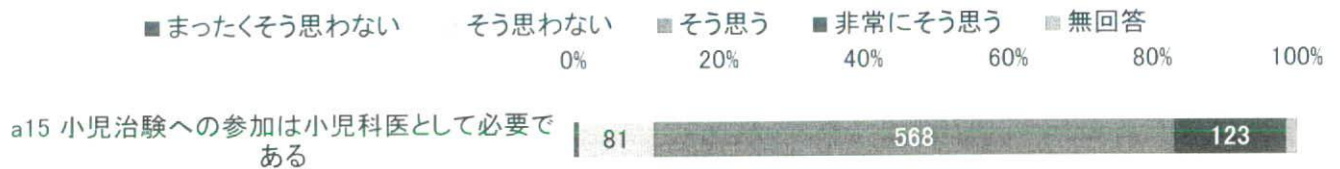


図 4-8 参加の必要性

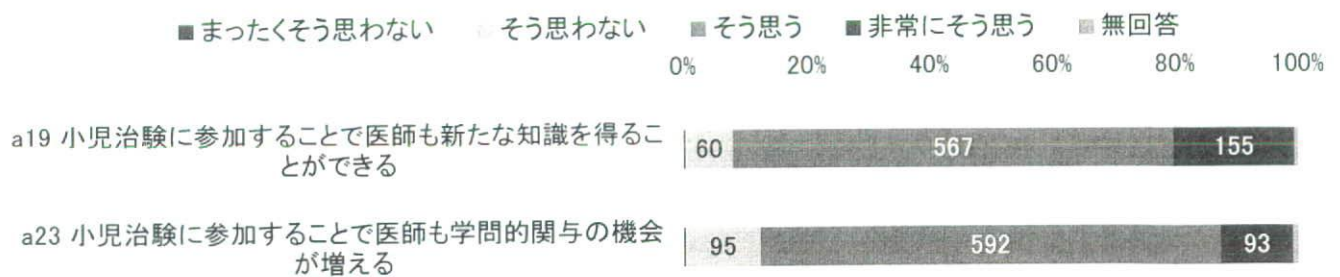


図 4-9 医師の利益

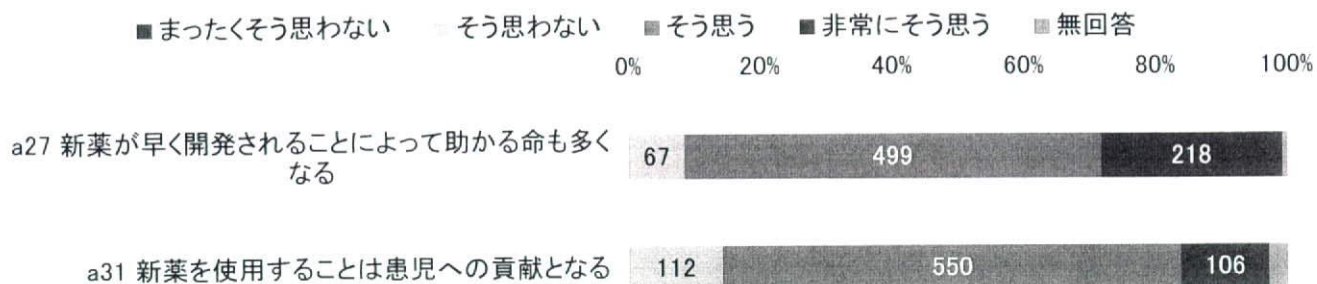


図 4-10 患者への利益

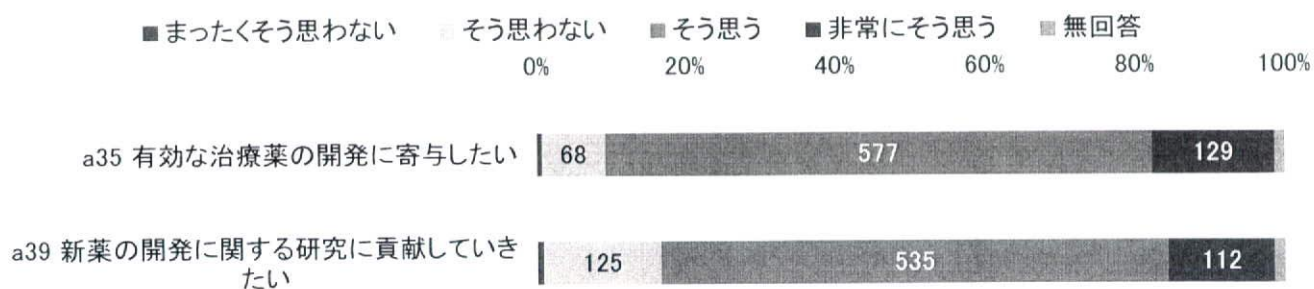


図 4-11 社会的貢献